

洛西だより



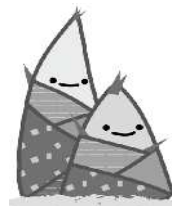
竹の子

令和2年5月7日発行
京都市立洛西中学校
文責：校長 高垣明夫
第2号

「自立・貢献・夢さがし」～誇りをもって、自らの未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる～

新型コロナウイルス感染拡大を受けて！

新型コロナウイルス感染拡大が続いていますが、厚生労働省は、まさに今が今後の国内での健康被害を最小限に抑える上で、極めて重要な時期であると伝えています。一般的な状況における感染経路は、飛沫感染、接触感染であり、空気感染は起きていないと考えられています。そこで、国の専門家会議は、人と人の接触を80%減らしましょうと呼びかけています。4月16日に、国の緊急事態宣言が全国に拡大され（京都府は特定警戒都道府県）、それから2週間が経ち、その効果が現れてくるかどうか注目されています。現在のところ、まだまだ予断を許さない状況として、京都市では学校の臨時休業を、当面5月17日（日）まで延長したところです。「密閉・密集・密接」の「3密」を回避するとともに、手洗いや咳エチケット等、感染防止対策の励行も求められています。改めまして、休業中はご家庭において、健康観察票を活用した検温等、健康チェックをよろしくお願いします。



医療従事者をはじめエッセンシャルワーカーへの感謝の気持ちを！



新型コロナウイルス感染拡大が続いている中、医療現場で患者の皆様のために、懸命に勤務されている医療従事者の方々へ感謝の気持ちを伝えるために、今、世界各地で照明を青色にしてライトアップしたり、所定の時間が来たら、作業などを一旦止めて、皆で拍手を送る取組が行われています。私たちも、そのような取組に賛同し、医療従事者の方々へ感謝の気持ちを表したいと思います。

また、見えないところでたくさんの方々、私たちの生活を支えてくださっています。そのような方々のことを、エッセンシャルワーカーと呼びます。具体的には、前述の医療従事者の方々をはじめ、食品を作っている工場の方、クリーニング業務の方、ゴミ収集の方、公共交通機関の職員、スーパーやドラッグストアの店員、通信販売の配達員などの方々挙げられます。私たちが生活を営む上で欠かせない仕事に従事していただいている皆様に、改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

「スペイン風邪」の対応（歴史）から学ぶ！

今から約100年前、第一次世界大戦が終了した1918～20年にかけて、スペイン風邪（インフルエンザ）が流行し、パンデミックになりました。世界人口のほぼ3分の1（約5億人）が感染し、死者数がおよそ5000万人に上ったとされています。その当時のデータから分かることは、社会的距離の確保とその他の措置を徹底した都市は、そうしなかった都市と比べて、最大で50%の感染拡大を遅らせ、致死率を低く抑えることができたということです。具体例として、米国で最も厳しい措置（社会的距離の確保や自宅待機など）を取った都市、サンフランシスコ、セントルイスなどでは、感染拡大と死亡率を大幅に抑制することができたということです。それによって、医療従事者と病院にかかる負担を軽減することができたとも伝えられています。歴史から学ぶとすると、今は「STAY HOME」ですね。



当時のアメリカの医師たち

臨時休業の延長に伴う学習課題について！



当面、5月17日（日）まで臨時休業が延長され、休業期間が長期化する中で、授業時間の確保が難しい状況です。そこで、学校再開後に各教科等での学習を少しでも円滑に進めるためには、家庭学習において一定の学習内容の定着を目指してもらえれば嬉しく思います。その際に、京都市の学校間で、あまり差が生じることがないように、今回は教育委員会が4月の学習内容を踏まえて、課題を作成しました。5月7日（木）8日（金）の両日をかけて、家庭訪問をし、その課題と副読本などをお届けします。皆さんが、わかりやすく学習できるように、各教科の先生方が解説を付けるなど工夫しています。5月の学習内容の課題は、5月11日（月）の週に改めてお届けする予定です。

皆さんが、規則正しい生活習慣のもと、学習を計画的に進めることができるように、今回は「家庭学習計画表」も付けています。自分で工夫して、1週間（平日分）の学習の時間割表を作ってみてください。そのスケジュールに基づいて、わかるところから、「ゆっくり、じっくり、でも、しっかり」取り組んでください。わからないところは空欄でも大丈夫です。学校再開後に先生方と一緒に取り組みましょう。また、休業期間が長くなってストレスが溜まっているかもしれません。そこで、皆さんの心を耕すために、道徳の教材も3種類入れてあります。心を和ませ、感じたままに感想をワークシートに書いてください。

学校再開後に、4月9日（木）に配布した本校独自の学習課題と教育委員会が作成した今回の学習課題（4月分・5月分）を回収します。評価としては、各教科とも「課題の提出」を「関心・意欲・態度」に入れます。また、授業の中で課題をコンパクトに説明したり、確認したりしていき、単元テストや定期テストに出題し、「知識・理解」や「思考・判断・表現」などを評価していきます。「継続は力なり」頑張ってください。

皆さんの困りにこたえるために！

学習課題を進めていく中で、どうしてもわからず、行き詰った時に教科の先生に質問したいとか、いろいろな悩みがあって気分がすぐれず担任の先生に相談したい時などは、学校に相談の電話かメールをください。少しでも、皆さんの力になればと思っています。具体的には、電話で済む場合、学校へ来てもらい話をする場合などが考えられます。



例1、学習面で助言してほしい時 → 学校へ電話をかけてください。

A：担当教員がいれば、その電話でお応えします。B：担当教員がいなければ、後日、学校から電話をかけ直します。

例2、電話よりもメールの方がアポイントを取りやすい人

学習面で助言してほしい時 → メールにその旨を書いて送ってください。メールを確認した教頭先生から担当教員に連絡します。A：担当教員がいれば、電話でお応えします。

B：担当教員がいなければ、後日、学校から電話をかけます。

例3、電話よりも学校へ来てもらおう方がよいと担当教員が判断した時 → 学校の教室へ来てもらい、一人当たり10分程度の助言を行います。その際には、ソーシャルディスタンス（社会的距離：2m以上）を保ち、マスクも着用して対応します。

例4、悩みについて相談にのってもらいたい時 → 学校へ電話をかけるか、メールを送ってください。担当教員が電話で話を聞き、必要があれば学校へ来てもらい、しっかり話を聞きます。その際にも、社会的距離（2m以上）を保ち、マスクも着用して対応します。

改めて、学校の電話番号とメールアドレスを、下に記載します。必要な人は連絡をください。

【学校の電話番号】 075-331-6131

【学校のメールアドレス】 rakusai-c@edu.city.kyoto.jp

